

平安時代のかまぼこってどんな味？

「かまぼこ900年記念 再現料理イベント」 ～平安のかまぼこ料理を味わう会～

- 日時：平成27年7月21日（火）17時開宴～20時30分（受付開始16時30分）
- 場所：「京料理 木乃婦」京都府京都市 下京区新町通仏光寺下る岩戸山町416

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、全国蒲鉾水産加工業協同組合連合会（以下全かま連）では、7月21日（火）に「かまぼこ900年記念 再現料理イベント」～平安のかまぼこ料理を味わう会～を業界関係者向けに開催します。

かまぼこが文献に初めて登場したのが、900年前の7月21日。そこで今回、昔の作り方を文献から紐解き、900年前のかまぼこをそのまま再現して過去を振り返り、未来を見るかまぼこ900周年のイベントを行います。

これによって、日本食文化の中で育まれてきたかまぼこを学び、栄養食として、また嗜好品として長く親しまれてきた「かまぼこの魅力」を、温故知新にならない再発見していただく機会としたいと考えております。

また、未来のかまぼこにも思いを馳せていただくため、900周年キャンペーン「1000周年に向けた100年計画」も発表します。

なお、当日はこの「再現かまぼこ」を報道関係者の皆様に実際に一部ご試食頂くとともに、期間限定での販売について改めてご案内する予定です。

当日の会場スペース、並びにご試食分には限りがございます。予めご了承下さい。

※全国蒲鉾水産加工業協同組合連合会は、水産ねり製品（かまぼこ、ちくわなど）の製造業者による業界唯一の全国組織として、1940年（昭和15年）12月9日に設立されました。現在の組合数は、全国52組合、傘下企業数は約800社にのぼります。これまで「世界を結ぶ」、「消費者と結ぶ」、「若者に結ぶ」をキーワードに、かまぼこに使用する未利用資源・多獲性魚など新しい原料魚の開発利用や、国民の食生活を支えてきた水産ねり製品の栄養特性のアピール、原料の供給安定、後継者の育成等の活動を通じ、業界の発展と活性化に努める組織です。

塩辛い！？ 900年前のかまぼこ

完成した再現かまぼこは、食べ慣れた現在のかまぼこ比べると少々塩辛い印象。それは、当時の食事が基本的に保存食中心であり、特に貴族階級の暮らす京都は、海が遠く、税として諸国の物産を京都まで運ぶ必要があったため、保存されるものが多かったことが理由ではないかということです。そういったこともあり、食材を乾燥・塩漬け・発酵させる保存食は、平安時代に非常に発展しました。

気になる味ですが、材料が白身魚の鱸（スズキ）と塩のみと極めてシンプルである分、素材の風味が感じられる大変おいしいもので、今でも十分に通用するものでした。

900年もの前から存在する日本の伝統食「かまぼこ」は、良い特長を引き継ぎ、より日本人の好みに合うよう時代とともに進化してきたのだということを「再現かまぼこ」は、教えてくれます。



【 本件に関するお問い合わせ先 】

「かまぼこ900年記念 再現料理イベント」プレスイベント広報担当 電通PR

TV担当 萩原 TEL： 03-5565-6059 (090-1467-6773)

紙・WEB担当 田中（延） TEL： 03-5565-6467 (080-1384-9608)

紙・WEB担当 小糸 TEL： 03-5565-6756 (080-1384-9566)

記

日時：平成27年7月21日火曜日 17:00～20:30（受付16:30～）

場所：「京料理 木乃婦」 京都府京都市 下京区新町通仏光寺下る岩戸山町416

当日プログラム

- | | |
|-------|---|
| 16:30 | 受付開始 |
| 17:00 | 開会の挨拶／全国蒲鉾水産加工業協同組合連合会・鈴木会長 |
| 17:20 | 鈴木たね子先生（国際学院埼玉短期大学客員教授）　ご講演①
「昔の蒲鉾、今のかまぼこ、これからのカマボコ」 |
| 17:40 | 門上武司先生（フードコラムニスト）　ご講演②
「和食は、日本の最後の砦」 |
| 18:00 | 木乃婦ご主人様ご挨拶、会食（再現蒲鉾、再現料理も含む） |
| 20:00 | 閉会の挨拶／全蒲・人羅副会長 |

アクセス



【FAX返信用紙】

F A X 番号：03-3542-0634

電通PR行

「かまぼこ900年記念 再現料理イベント」
～平安のかまぼこと料理を味わう会～

- 日時：平成27年7月21日（火） 17時開宴～20時30分（受付開始16時30分）
- 場所：「京料理 木乃婦」京都府京都市 下京区新町通仏光寺下る岩戸山町416
- 出席者：全国蒲鉾水産加工業協同組合連合会 会長 鈴木博晶氏

ほか

※恐れ入りますが、□に印をご記入の上 7月20日（月）までにご返信ください。

☐ ご出席 ☐ ご欠席

■貴社名：

■媒体名：

■御芳名：_____（計 _____ 名）

■カメラ台数：スチールカメラ _____ 台 / ムービーカメラ _____ 台

■御電話：

■メール：